

防犯意識を高め 被害をなくそう

警察が認知している市内の犯罪件数は、平成14年に14,145件とピークになりましたが、その後減少を続け、平成26年は5,247件になり、12年で約60%減少しました。

しかし、多くの犯罪はまだまだ日常生活に潜んでいます。特に平成26年には、みなさんの大切な財産を脅

かす「振り込め詐欺」や「空き巣」が増加しました。これらの犯罪に遭わないためには、一人ひとりが日頃から防犯対策を意識して実践することが大切です。今号では、振り込め詐欺と空き巣の対策についてお知らせします。

問 334-1129 市民安全課

平成26年の市内の振り込め詐欺発生件数は69件、被害総額は約2億3千万円となり、年々、被害が増加しています。

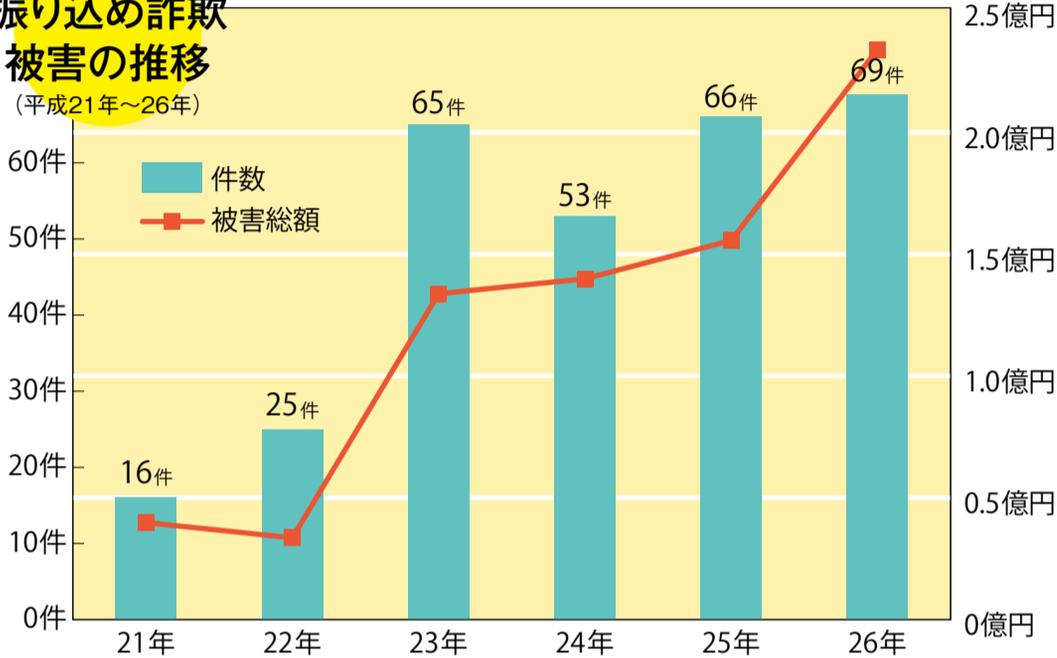
相手は詐欺のプロです。振り込め詐欺の電話が実際にかかってくると、冷静な判断が難しくなります。電話でお金の話が出たら、まずは詐欺だと疑ってください。
※平成26年の件数、被害総額は暫定値です。



振り込め詐欺の注意を促す「電話機用ポップアップ」(市民安全課、総務課で配布しています)

市内の振り込め詐欺被害の推移

(平成21年～26年)



市職員を装った還付金等詐欺にご注意

還付金の手続きで、市職員が、口座番号や暗証番号を聞いたり、銀行などでATMの操作を依頼することはありません。このような電話は全て詐欺だと思ってください。

防犯活動にご協力ください

募集中

いちかわボランティアパトロール

散歩や買い物などのちょっとした外出の際に、オレンジ色の帽子をかぶって、地域をパトロールするボランティア活動です。登録者には、市から帽子とワッペンを貸与しています。



青色防犯パトロール

自治会や地域の方などが、小学生の登下校の見守りや地域の安全安心のために、青色回転灯を装備した車で自主防犯パトロールを行っています。市では警察への青色回転灯申請手続きのサポートや貸与を行い、地域の活動を支援しています。



※写真は市の青色防犯パトロール車両です。

自主防犯活動

市では、5人以上で構成され、月1回以上、自主的に防犯活動を行っている団体に対して、帽子や腕章、のぼり旗などの防犯物品を支援しています。団体で行うパトロールは、犯罪抑止に特に効果があります。仲間を誘って、パトロール活動にご協力ください。



振り込め詐欺
発生中

電話でのお金の話はちょっと待って



近年発生が多い振り込め詐欺の種類



オレオレ詐欺

親族などを装い電話をかけ、急に必要になったなどという名目でお金をだまし取る手口。近年は、銀行員や会社の上司などを語った人物が、直接現金を受け取りに来るケースが多い。

還付金等詐欺

税金や年金などの還付に必要な手続を装って電話し、ATMを操作させ被害者が知らないうちに、お金を振り込ませる手口。

融資保証金詐欺

金融業者を装って、実際には融資をしないで、保証金や信用調査などの名目でお金をだまし取る手口。

架空請求詐欺

郵便や電子メールなどを利用し、不特定多数の人に架空の事実を内容とした料金請求をし、お金を振り込ませる手口。

振り込め詐欺の対応策

- ・振り込む前に必ず家族や警察、市役所などに相談しましょう。
- ・親族や公的機関からの電話などでお金の話がでたら、一度電話を切り、自分から親族や公的機関などの正しい電話番号に、確認の電話をしましょう。
- ・合い言葉や家族しか知らないことを聞いて、相手を確認しましょう。
- ・在宅時も常に留守番電話にしておき、受話器を取らずに、相手の声や話す内容を確認しましょう。

相談窓口

千葉県警察 振り込め詐欺相談専用ダイヤル
☎0120-494-506

〈受付時間 月～金曜日(祝日を除く)午前8時30分～午後5時15分〉

☎334-1129市民安全課

切り取り線

▲切り取って電話機のそばに貼っておきましょう。

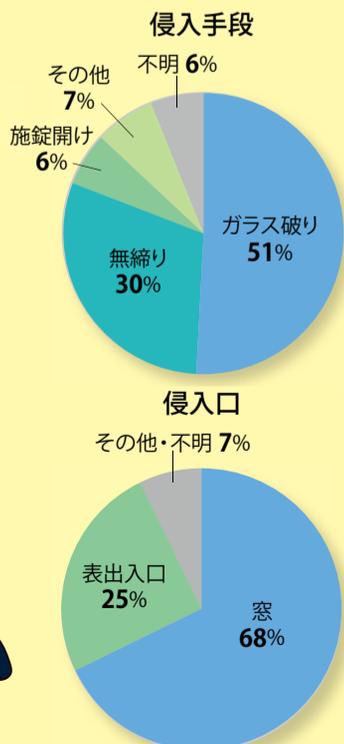
空き巣被害が増加しています

基本は「戸締まり」

空き巣の犯人の侵入手段の中で意外と多いのが、無締り(無施錠の窓などからの侵入)です。ゴミ出しの一瞬も空き巣の犯人は見逃しません。鍵を掛ける習慣を身に着けましょう。

県内の空き巣被害状況

出典元：千葉県警察公表
「空き巣の分析結果(平成26年上半年)」



家の周りの死角をチェックしよう

